

香川県さぬき市における鳥インフルエンザへの対応について

＜発生状況と政府の初動対応＞

- (1) 1月10日(水)、香川県さぬき市の肉用鶏農場において、死亡羽数が平時と比べて増加したことから、簡易検査を実施したところ、陽性と判明。
- (2) 同日、農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部を開催し、疑似患畜と判定された場合の対応方針を決定。
- (3) 翌11日(木)夜、H5亜型陽性(疑似患畜)と判明したことから、
 - ① 農水省対策本部で決定した対応方針に基づく措置を迅速に実施し、
 - ② 12日(金)、関係閣僚会議、関係府省庁連絡会議が開催され、本病に政府をあげて対応をすることを確認するとともに、関係府省庁間での連携を確認。
- (4) 同12日(金)、遺伝子解析の結果、N6亜型であることが判明し、高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定。

＜発生農場等の概要＞

	農場所在地	飼養状況	用途
発生農場	香川県さぬき市	約5.1万羽	肉用鶏
疫学関連農場	香川県さぬき市	約4.0万羽	肉用鶏

(参考) 周辺半径10km圏内の農場 ※発生農場、関連農場は除く

	肉用鶏		採卵鶏		種鶏		合計	
	戸	羽	戸	羽	戸	羽	戸	羽
3km圏内	2	42,300	1	925	4	21,200	7	64,425
3-10km圏内	6	302,043	12	694,561	1	10,000	19	1,006,604
合計	8	344,343	13	695,486	5	31,200	26	1,071,029

＜防疫対応の推移＞

- 防疫措置状況 ※関連農場含む。
1月12日(金)、殺処分(約9.1万羽)完了。
1月14日(日)、消毒等の防疫措置完了。
- 家きん卵等出荷のための検査
1月12日(金)以降、制限区域内にある13戸の採卵鶏農家について、必要な措置を講じることで順次出荷を再開。
- 発生状況確認検査
1月12日(金)、3km圏内の検査対象である7戸について、検査開始(臨床検査、抗体検査及びウイルス分離検査)し、1月16日(火)、陰性確認。
- 清浄性確認検査
1月25日(木)、3km圏内の検査対象である7戸について、検査開始(臨床検査、抗体検査及びウイルス分離検査)し、1月29日(月)、陰性確認。同日24時(30日0時)に搬出制限を解除。
2月4日(日)24時(5日0時)に移動制限を解除。

＜特記事項＞

- ・ 四国で初めての高病原性鳥インフルエンザの発生。
- ・ 1月10日の遺伝子検査で判定に至らず、翌日に再検査を実施。
- ・ これを機に、当面の検査体制について、以下の改善策を措置。
 - ① 簡易検査に使用する検体数を増加(5検体→11検体)
 - ② 簡易検査で陽性が出た段階で、農研機構動物衛生研究部門にも検体を運搬(検査のバックアップ)